



気象庁によると、平年の年間上陸数は2・7個なのに対し、今年のは台風7号、11号、9号がこの1週間に連続して北海道や関東に上陸した。8月中の発生数も7個と平年の5・9個を上回っている。今夏の特徴として、列島上空を西から東に流れる偏西風の一部が熱帯低気圧は台風に変わった後、太平洋高気圧

8月は台風が平年を上回るペースで発生し、相次いで日本列島に上陸している。気象庁の統計によると、台風1号が発生したのは7月3日で過去2番目の遅さだったが、8月に入って急増し、上陸数では既に平年を超えた。気象庁は太平洋上にある冷たい空気の固まり「寒冷渦」が台風の発生しやすい環境をつくり出していると分析している。

連続台風「寒冷渦」起因か

かんれいこうず

8月上陸数、平年超える

の西側のへりを沿うように北上し、関東や東北、北海道方面に進む傾向にある。上陸した7、11、9号はこのコースを進んだ。気象庁は「しばらくは太平洋上の気圧配置に変化はない」としており、今後もさらに多くの台風が発生し、列島に上陸する恐れがある。

2016年7月4日 朝刊

①「寒冷渦」とは、どんなものでしょうか。

②「寒冷渦」があると、どうして台風がたくさん発生するか、説明しましょう。

年 組 名前